

静岡県議会レポート

県庁内 控室 静岡市葵区追手町9-6 TEL054-221-3510
浜松市中央区入野町9860-1 TEL053-440-7100

浜松市中央区 田口 章



令和7年度は「チャレンジ元年」「財政改革元年」。未来に向けて、

創ろう！元気な静岡県

令和7年度がスタートしました。鈴木康友知事が初めて編成した新年度当初予算や新規事業などには“康友カラー”がいかに発揮されています。

予算案発表の際、知事は記者に問われ「スタートダッシュ予算」と名付けました。また2月定例会初日の知事説明では「令和7年度を“チャレンジ元年”“財政改革元年”と位置づけ取り組みを進める」と力強く決意を述べました。今月号ではこれら的一端をご紹介します。

一般会計当初予算の概要

令和7年度一般会計当初予算は1兆3723億円と過去最大となりました。

歳入は企業収益の向上による法人二税の伸びや、賃上げによる個人県民税の伸びが期待できます。その分借金(起債)を減らせることは良い点です。一方、扶助費(福祉関連経費)などの増のため歳出を減らすことはなかなか難しい状況です。

財政状況は非常に厳しく、当初予算編成後の基金残高(貯金)はわずか54億円で、しかも令和6年度2月補正予算で70億円の“調整債(資金手当債)”を発行しています。

貯金を残すために金利を払って借金しているようなものです。今後も厳しくチェックしていきます。



当初予算の概要
(静岡県サイト)

当初予算の特徴

①安全安心の確保

昨年の能登半島地震を受けて伊豆半島や「孤立リスク」のある地域への防災対策を進めます。浜松医大等と連携して東部地域の医師確保を進めます。また「こども第一主義」を県下全域で進めるため「こども若者政策部長」を設置します。

②産業振興

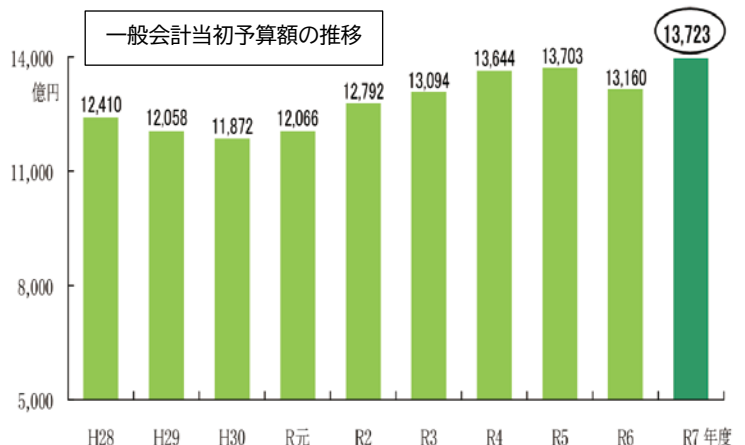
「スタートアップ支援」「企業誘致」を積極的に進め、県の特徴を活かした産業集積を目指します。また人口減少の中外国人の活躍を支援します。



産業成長戦略会議
(静岡県サイト)

③行政経営

今後4年間を「改革強化期間」として集中的に県政改革を進めます。目指す方向性は私も全く同じです。強く後押ししていきます。



中期財政計画

県は今後10年間の「中期財政計画」を公表し、通常債残高1000億円削減などの目標を示しました。これまでは「見通し」しか公表していませんでしたが、「見通し」は「なりゆき」を示したに過ぎません。「計画」には「意思」が入ります。今回の「計画」には康友知事の「財政健全化を進めるぞ！」という強い意志が込められています。

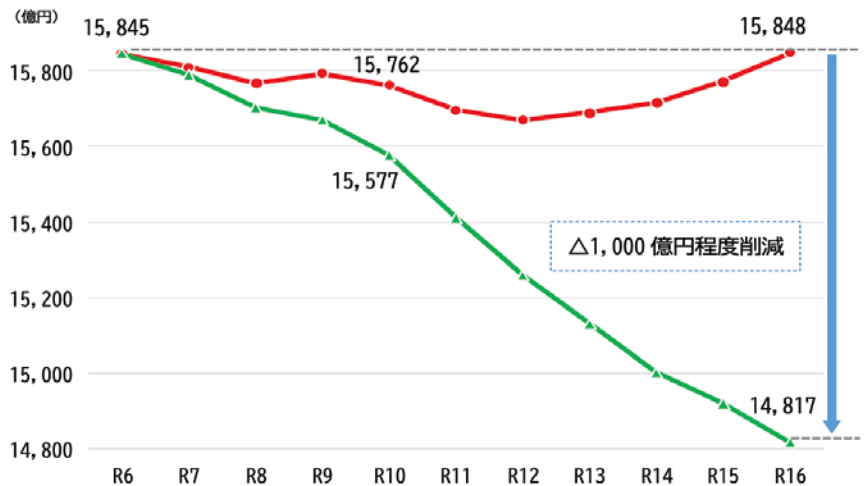


中期財政計画
(静岡県サイト)

(参考) 財政指標の推移 (改革を反映したケース)

※歳出・歳入の見直し(40億/年)や投資的経費の抑制等を実施した場合

<県債残高(通常債)>



遠州灘海浜公園(篠原地区)公園整備

県と浜松市の間で「利活用推進協議会」が設置され、1/28に第1回協議会が開催されました。協議方針として「民間ノウハウを最大限取り入れ、集客・収益が見込まれる施設導入の可能性を探る」「民間投資を可能な限り呼び込むことにより、財政負担の軽減を図る」などを挙げています。

2月定例会ではそのための調査事業費2300万円と、未取得となっている公園東側区域の用地取得費4億5千万円を可決しました。一方、ドーム型スタジアムの建設費が令和4年度の試算370億円に対し物価高騰などにより上振れすることが取り上げられました。

実際の建設費用や負担のあり方は今後の検討となりますが、私たちはこうした状況も踏まえつつ、30年50年にわたり地域経済の活性化に資する施設にするために、どのように活用し、いかに稼働率を上げるか...を検討していく考えです。

「できない理由を挙げるのではなく、どうすればできるか」。こうした考え方で、野球だけでなく“多目的”ドームとしての利活用について、官民挙げて知恵を絞っていきたいと思います。



FMHaro! 76.1MHz

KENGI DE Night (県議でナイト)

月・木の夜、FM Haroで県政のホットな話題をお届けしています。担当するのは県西部の会派メンバー8人。私は毎月第4月曜日19:30-20:00を担当しています。お聴きくださいね。



創ろう!元気な浜松&静岡県

田口章は持ち前のフットワークで、元気いっぱい活動しています。日常の活動は、ホームページやブログでも報告しています。インターネットがご利用できる方はぜひご覧ください。



田口章 で 検索

